

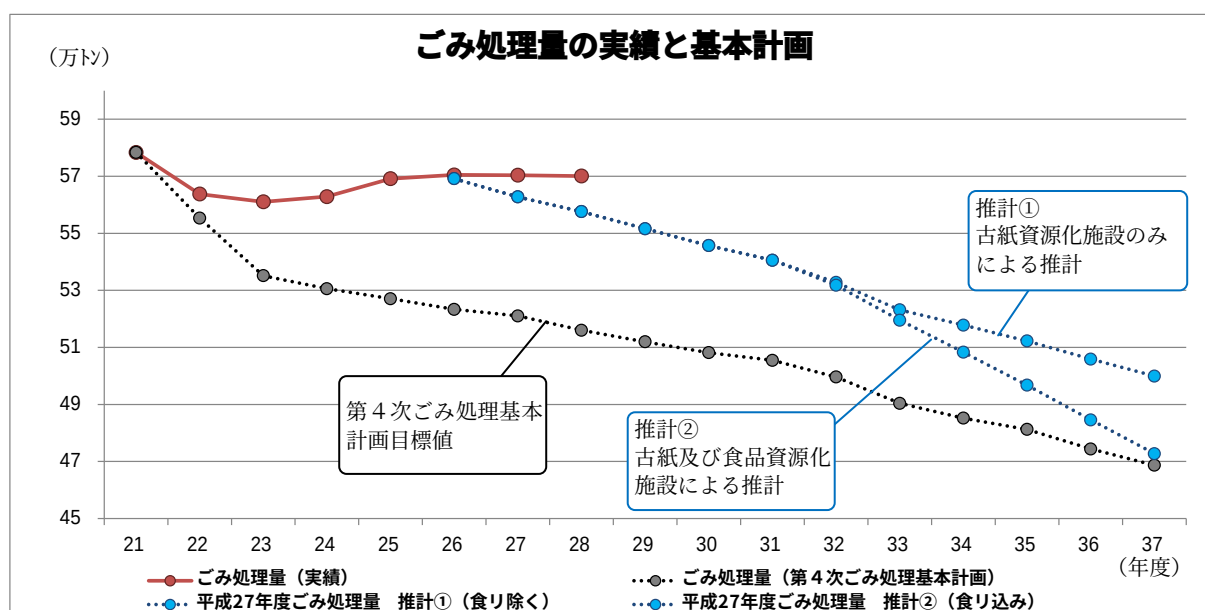
ごみ処理量の現状と今後の進め方について

1. ごみ処理量の現状

「新循環のまち・ふくおか基本計画」（以下「基本計画」という。）においては、平成 37 年度までにごみ処理量を 58 万トンから 47 万トンに減少させる目標としている。

しかしながら、平成 24 年度以降にごみ処理量の実績と乖離が生じたため、平成 26 年度にごみ処理量検討作業部会を立ち上げて審議したところ、資源化施設の誘致等の事業系ごみへの重点的な取組みによりごみ減量を進めていくという結論に至り、平成 27 年度環境審議会にて承認された。

現在のところ、市民・事業者の 3 R への取組みは進んでおり、資源化施設の整備についても開業に向けた手続きを進めているところではあるが、予測を超える人口の増加、経済状況の好転、交流人口の増加等の複合的要因により、近年のごみ処理量はほぼ横ばいとなっている。



2. 今後の進め方

基本計画の推進のためには、上記の事業系ごみの重点的な取組みを着実に進める必要があることから、古紙誘導策やそのスケジュール等について本部会を複数回開催し、集中的に審議していくとともに、その他新規施策等についても検討していく。